

平成 31 年度 入学試験問題 (前期日程)

小 論 文

試験時間 90分

農林海洋科学部(農林資源環境科学科)

問題冊子 問題…… 1 題 ページ…… 1

解答用紙…… 2 枚

下書用紙…… 2 枚

配 点……表示のとおり

注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験中に、問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び下書用紙の不備等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 各解答用紙に受験番号を記入すること。
なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
5. 解答用紙には英数字を1マスに2文字まで入れることができる。
6. 解答用紙の各ページは、切り離さないこと。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

問題 以下の文章を読んで、問1および問2に答えなさい。

いわゆる「IoT」は Internet of Things の略記であり、さまざまなものをインターネットでつなぐ技術のことである。例えば、スマートフォンにより遠隔地から屋内家電を操作する技術が実用化されている。農業の分野においても、国内外を問わず、IoT の導入・活用が盛んに試みられている。

問1 日本の農業に IoT 技術が導入されようとしている背景を 400 字以上 500 字以内で記述しなさい。(50 点)

問2 農業分野において IoT 技術を導入する場合、どのような活用が考えられるか、具体例とその利点を 400 字以上 500 字以内で記述しなさい。(50 点)